

令和 7 年度 第 1 回大阪市被保護精神障がい者等地域移行推進検討会議
(個別事例検討会議)

1 開催日時

令和 7 年 6 月 19 日午前 9 時 30 分から午前 11 時 15 分

2 開催場所

福祉局会議室

3 出席者

(委員) 栄委員、芦田委員、田村委員

(事務局) 各務係長、瀬川係員、半田支援員、小林支援員

4 議題

- (1) 地域移行支援事業の実績報告等について
- (2) 個別支援の検討
- (3) その他

5 議事要旨

事務局より地域移行支援の取り組み(支援実績、退院者一覧等)や、個別検討課題を報告し、委員より意見をいただいた。主な意見は次のとおり。

- ・事業開始当初は、本事業のターゲットは主に若年層としており、退院支援は救護施設への入所が主であったが、その後、実施機関から高齢者層への支援の要望があり、対象者の見直しを行った。高齢者層への支援は、介護保険施設等への入所支援が多くを占めることから、入院中に要介護認定を受けておくことが大事ではないか。
- ・成年後見人をつけることにより、なぜ退院できないのかなど、支援員が医師と話しをする際、後見人に同席してもらうこともできるので、積極的に成年後見の申し立てを活用してほしい。
- ・親族が退院を反対しているケース等、適切な支援を受けられていないケースがあれば、場合によっては、虐待と判断されるので、市長申し立てで後見人の選任する等、対応してほしい。
- ・なお、後見人制度を利用することに拒否感を示す人もいるが、保佐人の場合は、

同意権を限定的につけることもできる。

以上